

## 2章

# まちづくりの構想 (全体構想)

### 1

## 小金井市の将来像と まちづくりの基本理念

### 1 ● 小金井市の将来像

小金井市の一番の特長は、豊かなみどりと水に恵まれたうるおいのある都市環境です。この貴重な財産は、私たちが守り育て、増やし、大切に継承していかなければなりません。そして、豊かな自然に囲まれながら、すべての市民が自立し、いきいきと活気に満ちた生活ができるまち、躍動感あふれるまち、明るく健康で笑顔あふれるまち、そんな21世紀の小金井市をめざします。

《小金井市の将来像》

「元気です <sup>も</sup> 萌えるみどりの小金井市」





## まちづくりの基本理念

本市の将来像「元気です 萌えるみどりの小金井市」を実現するために、次の4つを基本理念として、まちづくりを進めます。

### 《まちづくりの基本理念…小金井市の将来像を実現するための4つの柱》

#### ①みどり豊かで快適な魅力あるまち（環境と都市基盤）

本市は、「はげ」のみどりの保全や雨水浸透樹設置率世界一に現れているように、市民生活にうるおいとやすらぎを与えてくれるみどりと水を市民とともに大切に守り育ててきました。

今後も、みどりと水の保全と拡大に積極的に取り組んでいきます。

一方、JR中央本線連続立体交差事業にあわせて、都市計画道路などを整備し、公共交通機関との円滑な接続と駅周辺の活性化を図り、調和のとれた都市美と個性あふれる魅力ある駅周辺の整備を進めます。

また、地球規模で広がっている環境問題に対応するため、ごみの再資源化などにより、環境にやさしい資源循環型社会への転換を図っていきます。

#### ②いきいきとした暮らしを支えるまち（地域と経済）

本市は、21世紀型の新たな経済活動にふさわしい地の利があり、多くの市民が、社会的活動に関心を持っています。この地の利と市民の創意とエネルギーを活かし、広域多摩における経済的牽引力のある創造的な産業の育成を図ります。

また、既存の商店街の個性化、活性化及びみどり豊かな都市農業への転換を支援します。

#### ③豊かな人間性をはぐくむふれあいのあるまち（文化と教育）

本市は、武蔵野の自然と歴史に恵まれたまちです。先人の残した貴重な財産を守っていくとともに、国際化や情報化に対応した、本市にふさわしい地域文化の育成を図っていきます。

学校教育においては、心の豊かさや自然との共生が実感できる教育を推進していきます。

また、家庭や地域での心のふれあいや生涯学習をとおして、豊かな人間性をはぐくみ、だれもが社会参加できる心のかよう社会をめざします。

#### ④安心してらせる生きがいのあるまち（福祉と健康）

本市は、市民だれもが健康で生きがいをもってらせるまちをめざします。

そのため、市民の豊かな自治意識を大切にしながら、すべての人が社会参加しやすい条件整備を進めるとともに、個性を互いに尊重する社会を築きます。

また、市民一人一人の財産である健康の保持・増進を図り、あわせて、福祉の充実によって、明るく元気のある地域社会をめざします。

さらに、21世紀を担う子どもたちが心身ともにすこやかに成長するよう良好な環境の整備を進めます。



## 2

### まちづくりの 基本目標

#### 基本目標／1

これからのまちづくりは、地方分権の推進や少子高齢時代を迎えて、本市固有の自然、歴史、文化を活かした魅力ある都市空間の創出、市民の価値観の多様化に対応した快適な居住環境の整備、限りある資源を効率的に利用する循環型社会の実現などが重要な課題になると考えられます。

そのうえで、小金井市の将来像とまちづくりの基本理念をふまえて、本市を舞台に生活し、働き、楽しむ「人」が都市活力の源になることを強く認識し、ゆとりと豊かさを真に実感できるまちづくりをめざして、まちづくりのテーマと3つの基本目標を定めます。

#### ○まちづくりのテーマ

### 「人・水・みどり ふれあいのまち 小金井」

#### 『環境共生のまちづくり』

##### ●水とみどりのネットワークや循環型社会をめざしたまちづくり

「エコロジカルな都市づくり」においては、都市内に積極的に水やみどりなどの自然資源を復活、創造することにより、気象の緩和や浄化作用などの自然資源の本来持っている機能を都市内で発揮させ、エネルギー消費の悪循環を緩和し、多様な生物の生息できる環境を取り戻すことが目標となります。

私たちは、地域固有の資源である野川や玉川上水などの「水」と、国分寺崖線（はげ）や武蔵野の面影を残す屋敷林、農地などの「みどり」を大切に保全し、これらをネットワーク化することにより、さらに新たな「水とみどり」を生みだすとともに、限りある資源を効率的に利活用する循環型社会の実現に向けて、次世代に誇れる「環境共生のまちづくり」をめざします。





## 基本目標／2

### 『安全・安心なまちづくり』

- 歩行者の安全性や快適性を重視したまちづくりや  
ノーマライゼーションを意識したふれあいのあるまちづくり

市民意識やライフスタイルが変化し価値観が多様化する成熟した社会では、都市に暮らす市民が一人一人安全、安心、豊かさ、喜びなどを実感できるまちづくりが大切です。

私たちは、生活におけるゆとりや質の向上に加えて、阪神・淡路大震災を教訓とし、さらにノーマライゼーションの精神に基づいて、まちに住む子どもや高齢者、身体に障害を持つ方を含めた全ての人々が安心して快適な生活が送れるような、生活基盤施設整備と地域コミュニティに配慮した「安全・安心なまちづくり」をめざします。

## 基本目標／3

### 『自立（律）と活力にみちたまちづくり』

- 新たな出会いと交流を生む魅力的な都市空間を備えた  
小金井らしい活力にみちたまちづくり

21世紀の地方分権化の流れや少子高齢社会などにむけて、本市は従来の住宅都市から市民が愛着を持って暮らすことのできる、魅力と活力にあふれた個性豊かな都市への転換が求められています。

私たちは、個性豊かなJR中央本線沿線各都市の連携と機能補完を意識しつつ、既存の文化、歴史や産業、大学などの機能を活用して、さまざまな人々や情報が行き交う小金井らしい個性と魅力を備えた都市景観や都市空間を整備し、「住」、「働」、「遊」、「学」が調和した「自立（律）と活力にみちたまちづくり」をめざします。





# 3

## まちづくりの 基本方針

### 基本方針 / 1

## 3-1 『環境共生のまちづくり』

水とみどりのネットワークや循環型社会をめざしたまちづくり

### 【1】「環境共生のまちづくり」の基本的な考え方

#### 次世代にほこれる景観づくり

##### ●小金井の風土にあった風景の保全と形成

国分寺崖線（はげ）のみどり、玉川上水の桜並木、農地と屋敷林、ランドマークとなる独立樹や並木など、小金井らしい美しさと風格を備えた景観の保全と形成を図ります。

##### ●小金井にふさわしい市街地景観の質の向上

広告物や自販機などを規制すべきところを指定し、建築物の色彩や形態の調和や、電線類の地中化や街路樹など、道路空間の修景による市街地景観の質の向上を図ります。

##### ●都市の拠点や軸における小金井らしいみどりの創造

駅周辺の拠点地区や都市活動の軸となる主要道路沿いに、ケヤキのシンボル樹やヤマザクラの街路樹など、小金井らしいみどりの創出を図ります。



#### 施策の展開

- 景観マスタープラン及び景観条例づくり
- 小金井らしいみどりの育成と管理マニュアルづくり
- 「みどりの拠点」、「みどりの軸」、「みどりの環」づくり

水とみどりと生き物の創造

●みどりの回復

緑被率30%の回復をめざした、農地や屋敷林の保全と宅地内緑化を進めます。

●水の循環性の確保

雨水の透水性、保水性の向上を図るために可能な限り土を残し、水の循環系づくりによる野川への湧水源と水量の確保を図ります。こうした雨水の透水性、保水性の向上は、都市型水害と呼ばれる内水氾濫対策としての効果もあります。

●水とみどりのネットワーク化

小金井公園、野川公園、武蔵野公園などの大規模公園・緑地、玉川上水、野川などの緑地資源のネットワーク化を図ります。

●多様な生態系の確保

国分寺崖線（はげ）のみどりを守るとともに、野川調節池のビオトープ化などにより、多様な動植物の生存環境の確保を図ります。

●親水空間の整備

野川、仙川などの河川の親水性を高めることや、用水路の復活などにより、親水空間の整備を図ります。



施策の展開

- 農業公園、市民農園、援農、遊農、学農など「農地を残すまちづくり」の展開
- 隣接都市との連携による国分寺崖線（はげ）の保全と都市緑地化
- 生産緑地の追加指定などによる農地の確保
- 仙川や、砂川用水などの用水路の復活とみどりの小径づくり
- 野川調節池のビオトープ化



環境負荷の少ないまちづくり

●循環型都市の形成

地球規模での環境問題が深刻化している今、大量生産、大量消費、大量廃棄という現在の社会経済システムを改め、ごみそのものを産み出さない社会構造と消費体系を形成し、廃棄物をゼロにするためのゼロエミッションや資源の再利用を図るためのリサイクル化を進め、自然環境への負荷を軽減する循環型都市環境への誘導を図ります。

●大気汚染の防止

アイドリングストップの励行やJR中央本線の連続立体交差事業の推進、小金井街道など幹線道路整備による円滑な自動車交通処理によって、大気汚染の軽減を進めます。

さらに、市街地内の自動車の通過交通を抑制（TDM:交通需要マネジメント）するとともに、歩行者・自転車道の整備やバスなどの公共交通機関の充実など、交通手段の転換（モーダルミックスの促進）によって、大気に排出される窒素酸化物や二酸化炭素の抑制を図るなど、エネルギーの効率化と大気汚染の防止を図ります。

●輻射熱の抑制

公園・緑地の保全とともに、オープンスペースや屋上・壁面の緑化、生け垣化の促進、街路樹の積極的な整備などにより輻射熱の軽減、抑制を図ります。

●環境にやさしい建築物の誘導

省エネルギーや水・大気の循環に配慮し、環境負荷の軽減に効果のある環境共生建築物づくりの誘導を図ります。



雨水浸透樹設置のようす



あふれでる湧水のようす

施策の展開

- 環境条例づくり
- 公共交通ネットワークの再編成と利用の促進
- 中間処理場リサイクルセンターの整備やごみ焼却場の改良
- 建築物の屋上緑化、壁面緑化及び雨水浸透樹など環境共生建築物の普及
- 公共建築物整備に際してのコ・ジェネレーションシステム導入の検討

## 【2】「環境共生のまちづくり」を実現するための都市構造

### みどりの拠点

#### 1 保全系の拠点

大規模な水とみどりの空間は、都市の温暖化や大気汚染を緩和する機能を有します。こうした観点からも、小金井公園、野川公園、武蔵野公園などの大規模公園・緑地はみどりの拠点として保全を図るとともに、市民や来街者のレクリエーション拠点としての利活用を図ることとします。

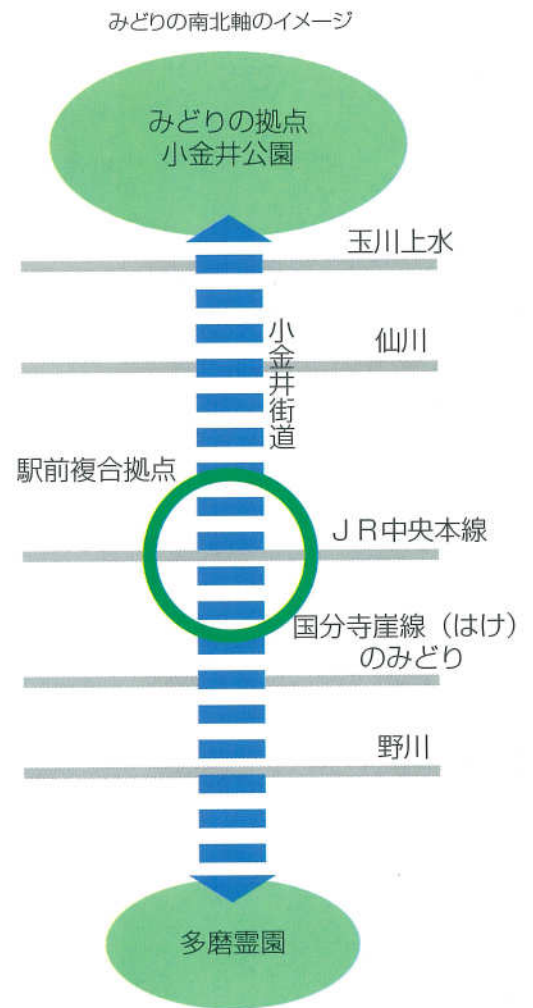
#### 2 創出系の拠点

武蔵小金井駅や東小金井駅周辺は、計画的な市街地整備により、駅前広場などを核に新たなみどりの拠点としても位置づけます。

### みどりの軸

#### 1 南北軸

小金井街道は、北は小金井公園から南は多磨霊園まで、玉川上水、仙川、国分寺崖線(はけ)のみどり及び野川など小金井の主要なみどりの資源を結ぶ位置にあります。これをみどりの南北軸として位置づけ、沿道の歩行者空間の拡充や、街路樹など道路空間の修景などにより、小金井市を代表する道路として整備します。

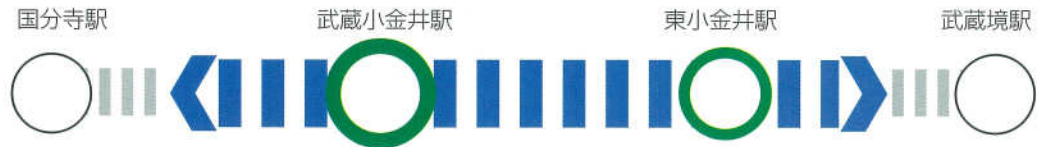




## 2 ● 東西軸

JR中央本線沿線ゾーンは、グリーンネックレス構想においても検討されているように、JR中央本線の連続立体交差化を契機として、みどりの東西軸として位置づけJR中央本線利用客（来街者）が小金井らしい風景を視認できるよう、鉄道施設を含めた沿線ゾーンでの緑化を図ります。

みどりの東西軸のイメージ



## みどりの環

### 1 ● みどりの大きな環

都市の骨格でほぼ外周を形づくる五日市街道、新小金井街道、東八道路及び都市計画道路3・4・8号線と西武多摩川線沿線をみどりの大きな環に位置づけます。五日市街道は玉川上水の桜並木などの親水空間を活かし、新小金井街道、東八道路及び都市計画道路3・4・8号線は地域の特色ある街路樹の整備を図るとともに、小金井公園、野川公園、多磨霊園などのみどりの拠点間の回遊性を高めるために、歩行者・自転車道などの整備を進めます。

### 2 ● みどりの小さな環

国分寺崖線（はけ）のみどり、はけの道、野川などの水とみどりの資源を活用するとともに、仙川や砂川用水を親水空間化することにより、水とみどりのネットワーク化を図りみどりの小さな環として位置づけます。みどりの小さな環は、散策路を中心とした歩行による回遊路として整備を進めます。



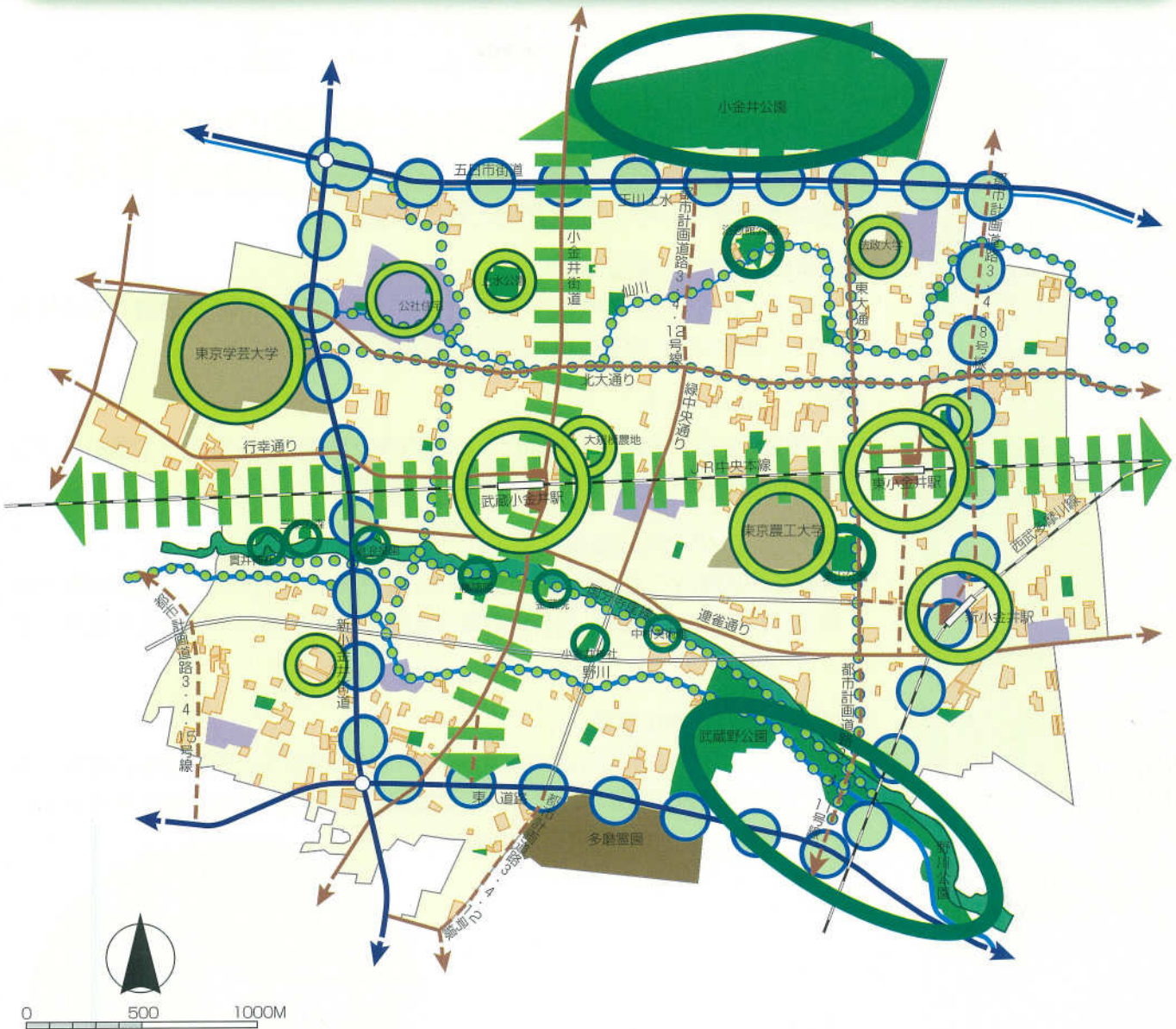
現状の仙川



仙川の整備イメージ



# 環境共生のまちづくりの方針



## 凡例



みどりの拠点(保全系)



広域幹線道路



農地(生産緑地)



みどりの拠点(創出系)



幹線道路  
(整備済・概成・整備中)



大学



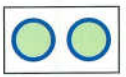
みどりの軸



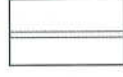
幹線道路  
(今後整備を進める路線)



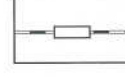
大規模団地



みどりの大きな環



都市計画道路



鉄道・駅



みどりの小さな環



都市計画公園・緑地



河川